

穎明館中学高等学校野球部

6か年での育成で真の文武両道を目指す《甲子園と最難関大学の合格の二兎を勝ち取る》



穎明館中学高等学校野球部について

本校は中高完全一貫校となっており、学習面は勿論のこと、部活動においても中高一貫の指導が可能となっています。野球部では中学1年生の春に軟式野球部に入部したのち、中学3年生の引退までは勉強と野球を中心とした生活リズムをしっかりと築いてもらいます。軟式野球部を引退した中学3年生は、夏休みの練習から硬式野球部に入部し、早い段階から硬式ボールに触れ、高校野球の基本を学ぶことができます。高校受験がないため、大好きな野球を6年間継続して続けることができます。他校の高校球児は850日程度が野球部に在籍する日数となりますが、本校の硬式野球部では約1100日程度野球部に在籍する形となります。集中して学習と野球に取り組める環境が整っている本校で文武両道を目標に一緒に野球をやきましょう！！

＜過去の実績＞

2004年 全国高等学校野球選手権大会西東京大会

準優勝

2011年 全国高等学校野球選手権大会西東京大会

ベスト8

＜指導体制＞

・中学軟式野球部…中学1年～中学3年夏。火・水・木・土・日の週5日。部員は現在19名。

顧問2名、外部指導員2名

・高校硬式野球部…中学3年夏～高校3年夏。月・火・水・金・土・日の週6日。部員は現在14名。

顧問2名、外部トレーナー1名

練習環境について

本校野球部は都内進学校の中ではトップクラスの練習環境で野球に打ち込むことが可能です。

広いグラウンドが複数あり、専用グラウンドもあるため、「サッカー部とグラウンドを分けて使用する」「練習場所がないため狭いスペースで練習をする」といった都内の学校ならではの悩みは一切ありません。

① **野球部専用グラウンド(B 球場)**…全面土の専用グラウンド。50m×75m。ブルペンが 4 か所同時に投球練習可能。



② **堀越球場(A球場)**…中堅 121m、両翼 92m。高校野球の春季・秋季大会の一次予選の会場として使用されています。堀越高校と兼用。高校生が主に水、木曜日に使用。ナイター設備あり。ブルペンは9か所同時に投球練習可能。



③ **人工芝グラウンド**…外野ノックが十分にできる広さのグラウンド。400mトラックあり。フリーバッティングや外野ノックで使用。



④ **室内トレーニングルーム**…室内にあるためいつでもトレーニングが可能です。



進学実績 (掲載は選手のみ)

・野球に情熱を注ぎ、一生懸命努力をした選手は引退後も希望の進路に進学しております。本校野球部では文武両道を掲げ、勉強も一生懸命取り組ませています。

＊卒業生の主な進学先

2014年度 28期生(4名) 慶應義塾大学、明治大学、法政大学、東京理科大学

2015年度 29期生(8名) 東京工業大学、東京学芸大学、青山学院大学 2名、明治大学、上智大学、法政大学、東京農業大学

2016年度 30期生(9名) 早稲田大学 4名、慶應義塾大学 2名、芝浦工業大学、立教大学、東海大学

2017年度 31期生(7名) 首都大学東京、関西大学、青山学院大学、早稲田大学、慶應義塾大学、明治大学、東京電機大学

2018年度 32期生(7名) 東北大学、首都大学東京、横浜国立大学、明治大学、青山学院大学、中央大学、東京薬科大学、順天堂大学

随時、練習の見学は可能です。体験練習会も年数回実施しておりますので、穎明館中学高等学校の野球部の雰囲気を感じに来てください。練習見学、ご質問は以下の連絡先までお願いいたします。

お問い合わせ先

【電話】042-664-6000 高校硬式野球部 監督 望月 【メール】baseballclub@emk.ac.jp